

# 水環境の再生



広島県江田島市



## Check!

「森は海の恋人、川は仲人」という

言葉があります。森に降った雨は様々な

物質を溶かし込んで川を流れ、海に至ります。よって、良好な水環境の再生は、湾とその流域を、陸と海の両面から総合的かつ広域的にとらえた取り組みが重要です。

### ●具体的な目安

汚水処理人口普及率 → 計画期間内約7%向上

合流式下水道の改善 → 計画期間内8地区改善

下水道高度処理人口普及率 → 計画期間内約13%向上

底質の改善 → 海田湾におけるパイロット事業の実施

陸域からの過剰な有機物や窒素・りんを削減するための汚水処理対策や、海底の底質改善対策などを推進することとしています。また、川や海の生物にとって大切な栄養分を供給する森林を保全するため、森林ボランティア活動など、多様な主体が連携した森づくりを推進することとしています。



太田川流域下水道東部浄化センター

### 下水道における高度処理の推進

アピールエリアの海田湾に放流している東部浄化センターにおいて、高度処理対応の処理施設の整備を進めています。



広島県廿日市市宮島町

### 森林ボランティアへの活動支援

森林ボランティア活動を行う団体に対し、活動の場(国有林)の提供や下刈の技術・安全指導、道具の貸出などの支援を行っています。

# 生物生息、生産の場の保全・再生



広島湾のアマモ場

## Check!

干潟や藻場などの浅場は、高い生物の生産性と水質の浄化能力を持つ重要な場です。広島湾に残っている干潟や藻場をこれからも保全していくとともに、過去の開発などによって劣化した干潟や藻場を修復・再生することが重要になってきています。

### ●具体的な目安

浅場の保全・再生面積 → 約90ha 保全・再生

環境配慮型構造物の延長 → 1,200m

現在残っている干潟や藻場を積極的に保全していくとともに、それを取り巻く海の良い環境の維持にも努めていきます。また、干潟や藻場など、様々な生物が生息できる場の再生を推進することとしています。



広島湾の藻場

### 浅場の保全

現存する干潟や藻場などの浅場については、保全の状況を継続的に監視していくためのモニタリング方法について検討を行います。



広島港五日市地区

### 人工干潟の整備

埋立てにより消滅した自然を再生し、飛来してくる鳥類の生息・活動空間を確保するための干潟の整備と環境の維持管理を行っています。

## 魅力ある親水空間の創出



広島港宇品地区



### Check!

豊かな水環境に触れる場を増やすことによって、ひとりひとりが地域の水を実感し、地域を流れる川や海への意識を高め、良好な環境を保全する行動へとつながります。

### ●具体的な目安

野鳥園・緑地の整備箇所数	→	3箇所
海洋性レクリエーション拠点の整備	→	1箇所
新たな親水空間となる海岸線延長	→	1,200m
眺望点の整備修復箇所数	→	2箇所

臨海部における新たな親水空間として緑地や野鳥園の整備を推進するとともに、直立護岸の緩傾斜護岸への改修、海洋性レクリエーション拠点や眺望点、人々の憩いの場及び環境教育の場の整備を推進することとしています。



ポートパーク広島／広島港吉島地区

**ポートパーク広島の整備**  
放置艇の削減を目的に整備したポートパーク広島には、レストランや遊歩道なども設置しており、広島湾の新たな親水スポットとして期待されます。



太田川基町地区

**太田川河川敷での映画鑑賞会**  
基町環境護岸などでは、地域住民との管理協定を締結し、地域住民による清掃や河川敷の利用などの活動を行うための場の整備を推進しています。

## 親水空間の利活用の活性化



山口県周防大島町

### Check!

環境の再生は一人ではできません。広島湾の環境を再生しようと思えば、湾に流れ込む河川の流域にすむ人々、湾沿岸や島しょ部に住む人々、すべての人々が連携して、これからの広島湾をどのようにしていくべきか考えていくことが重要です。

環境を守るには、みんなの協力が必要なのね。



### ●具体的な目安

護岸整備における地域住民との協働	→	海田湾での実施を検討
環境教育・普及啓発活動	→	現状以上

広島湾再生に対する人々の理解と関心を高め、再生への積極的な参加を促すため、川と海との連携による環境学習の場や水辺の拠点づくり、地域イベントの開催等の取り組みを進めていきます。また、地域住民・NPOなどの活動団体間の情報共有や、これらの団体の活動状況に関する地域住民への情報提供について検討していきます。



切串海岸／広島県江田島市

**海辺の自然学校の実施**  
地域の人々や地域づくりで活動しているNPOなどとの協働により、小学生を対象とした「海辺の自然学校」を開校しています。



みなとオアシスゆう

**みなとオアシスにおける親水イベントの開催**  
みなとオアシスなどの親水施設を拠点とした地域交流イベントや環境学習を開催しています。今後は、川と海が連携した環境学習の場づくりや地域イベントの開催なども推進していきます。



宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全します。

## 自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全 ごみの回収・処理の推進



宮島

### Check!

広島湾で先人により受け継がれてきた史跡は、全てが直接自然環境に関わるものではありませんが、その多くは自然環境とうまく調和し、良好な環境を維持してきました。「人間がいるからこそ保たれる豊かな自然」が存在するのです。

### ●具体的な目安

住民参加による  
自然景観、歴史・  
文化的資源の保全

現状以上



広島湾に存在する自然景観や歴史・文化的資源について、地域住民との連携による保全や、新たな観光・レクリエーション資源としての活用について検討していきます。また、海や川の浮遊ごみ・漂着ごみについては、その発生量の抑制とともに、ごみの回収・処理を推進することとしています。



海面清掃船「おんど2000」

### 清掃船によるごみの回収

海面清掃船による海面浮遊ごみの回収と定期的なパトロールを行っています。また、太田川でも浮遊ごみの回収を行っています。



広島県廿日市市

### リフレッシュ瀬戸内

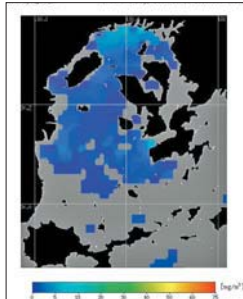
ボランティアの方々の参加により、毎年海浜の清掃活動や海健康診断調査を行っています。平成16年度からは、河川の清掃美化活動と連携した取り組みを推進しています。

## 行動計画をより発展・充実させて行くための取り組み

### 1. モニタリングの実施

広島湾の保全・再生状況については、モニタリングによって継続的に監視していきます。また地域住民との連携によるモニタリングについても積極的に支援・推進していきます。

人工衛星画像を活用した赤潮発生状況等のモニタリング▶



### 2. 実験的な取り組み

現段階では確立していない再生技術などについては、今後学識経験者と連携して、実験的な取り組みを進めていきます。



太田川における珪素のモニタリングの開始

### 3. 情報の共有化と発信

各機関が実施するモニタリング結果や環境学習・教育などの情報を有効に活用するために、瀬戸内海環境情報センターなどを利用し、情報の共有化とわかりやすい形での情報の発信を行います。



瀬戸内海環境情報センターホームページ  
<http://seto-eicweb.pa.cgr.mlit.go.jp/>

広島湾再生推進会議では、今後も取り組みを継続し、毎年行動計画のフォローアップを行います。

広島湾再生  
行動計画